

定年後の生涯学習環境として、 “教えながら学ぶ”場を提供。

みかみ たくじ
三上 卓治さん 東京都 85歳

定年後の20年間をどの
ように過ごしていかか。

定年後の生涯学習に深い関

心があり、市民主導の吉祥寺
村立雑学大学に参加した三
上卓治さんは、ここで定年後
の20年間の活動のきっかけを
得ました。

個人の経験や研究を如何に
後進に伝え、また後進が如何
にそれを学ぶかによって、文化
の蓄積度が変わってくることを
知り、生涯学習の場の重要
性を実感した三上さん。

平成6年には、高齢になら
れた雑学大学学長をバックア
ップするために世話人に就
任。毎週日曜日の講演の講師
の選定や、会場の設営・撤収を
はじめ、講演をアーカイブとして
ホームページに記載する
など、積極



的な活動を行ってきました。

貴重な知の結集が、
さらなる活性化を生む。

吉祥寺村立雑学大学のホ
ムページが、民間初の講演ア
ーカイブとして話題になり、
これが契機となって、通産省
(現経済産業省)後援のニュー
メディア開発協会の助成によ
り、平成13年、吉祥寺村立雑
学大学の考え方を取り入れた
NPO法人「神田雑学大学」
を設立しました。

「人は誰も、他人に聞かせ
て感動させられる話を二つは持
っている」という吉祥寺村立
雑学大学から受け継いだ思い
をコンセプトとして、様々な
分野に通じた人に講義をして
もらう。会場費、講師謝礼、参
加費をすべて無料にする「3
タグ主義」も、吉祥寺から受け
継いだものでした。

会場を神田にしたのは、三
上さんに講義内容をより学

問的にしたいという思いがあ
つてのこと。古書店街、大学、
ビジネスビルが建ち並ぶ神田
は、三上さんの考えに合致し
ました。

また、吉祥寺で評価を得た
ホームページでの発信にも力
を入れ、一般の人の知の結集と
すべく、講義のデジタルアーカ
イブ化を進めました。

高齢者を活動の対象としな
がら、受講生が講師になると
いう循環型のシステムを築く
ことで、生涯学習の活性化を
実現しています。

三上さんは、平成17年に
NPO法人「江戸ソバリエ協
会」を設立し会長に就任。実
は、この事業は千代田区が「江
戸開府400年記念」の一環
で始めた「江戸ソバリエ認定
事業」が基になっているので
すが、この事業自体がそは事情
に詳しい神田雑学大学の会員
の提案で始まったもので、神田
雑学大学が区の委託を受けて

運営したものでした。

多くの人々に喜んでもら
うことが私たちの活力。

三上さんは、「様々な人の
つながりが、大きな活性を生
む」と次のように言っています。
「講師料も事務作業もすべて
無報酬。それにもかかわらず
続けてこられたのは、参加す
る人それぞれにやりがいがあ
るからです。世の中には、この
ことに夢中になって取り組み、
その成果を話したがっている
人が大勢います。その発表の
場を世話し、喜んでもらうこ
とが、私たちの活力にもなっ
ています」。

